

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる			
	やや良くなる	スーパー（店長）	・客の買物動向に勢いが出てきており、周りの店の状況をみても改善傾向が見受けられる。	
		スーパー（店長）	・客の買物動向はより一層シビアになっており、単価が低く必要な物は確実に買っており、チラシの目玉商品を大量に買う傾向がより一層高まっている。 ・生鮮の相場は野菜が例年に比べて106%と上昇しており、全体的に上昇傾向にある。	
		家電量販店（店長）	・今夏は大型テレビの売行きが好調になる。	
		乗用車販売店（店長）	・8月には台数を稼げる大衆車が新発売になるので、今より上向きになる。	
		住関連専門店（営業担当）	・来客数が増加しており、それに伴い契約数も増加している。	
		その他専門店〔贈答品〕（店員）	・秋にかけてブライダル関係の引き出物の伸びがある。	
		一般レストラン（店長）	・金を払う時の客の表情が非常に明るく、客単価も月を追って上昇し、今月はプラス45円となっている。	
		一般レストラン（店長）	・だんだんと7月、8月の予約が入って来ているので、少し良くなってくる。	
		スナック（経営者）	・客単価も上昇しており、日によっては来客数が非常に多くなっている。	
		通信会社（総務担当）	・来月から新サービスが始まることから、例年よりは良くなる。	
		通信会社（営業担当）	・ブロードバンドへの関心が高まり、新たな家計支出が期待できる。	
		変わらない		
		百貨店（総務担当）	・来客数は5%程度伸びているが、買上点数が減少し、売上はほぼ例年並の状況がずっと続いている。	
		百貨店（営業企画担当）	・食品、消耗品の市場価格は低下しているが、客のボーナス額がダウンしているため売上はさほど変わらない。	
		百貨店（営業担当）	・来客数が減少している中で、紳士関連、婦人関連の来客数は堅調で、客単価は維持できているため現状と変わらない。	
		百貨店（売場担当）	・定価販売が苦戦している中で、パーゲンに移行しても良くなる要素はあまりない。	
		スーパー（店員）	・客の買物の様子を見ていても、広告売商品品の購入が最低限の買物というパターンが多い。	
		スーパー（店員）	・発泡酒にみられるように、メーカーの都合で価格は下がる一方であるが、客単価が上昇することはない。	
		コンビニ（エリア担当）	・客が商品を吟味して買う状況が続いている。	
	コンビニ（エリア担当）	・客単価の落ち込み、販売個数の落ち込みに歯止めが効かず、上向き要素も全く見受けられない。		
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・商品単価はほぼ定着してきているが、客は必要な物しか購入しないので数量の増加はない。		
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・単価の上昇する要素がない。		
	家電量販店（店員）	・シーズン商品を中心に動きが良くなれば上向いてくるが、パソコンなどの商品が不調のため、合計としてはあまり変わらない。		
	乗用車販売店（統括）	・客の賃金の目減り等の理由によって、商談の件数が少なくなっている。		
	乗用車販売店（総務担当）	・単価の安い車しか売れていない。		
	自動車備品販売店（店長）	・販売量、来客数ともに変化がない。		
	その他飲食〔ハンバーガー〕（エリア担当）	・プロモーションを打っても、客の動向に変化がない。		
	都市型ホテル（従業員）	・昨年開催された「きらら博」のようなイベントもなく、例年と同様の状況になっている。		
	旅行代理店（経営者）	・売上が例年を若干下回るような状態が同様に続いていく。		
	タクシー運転手	・例年3市が別の日に行っていた夏祭りが、今年は同日開催になったため、人手が分散して乗客数も少なくなる。		
	通信会社（経営者）	・新規加入実績が従来平均値を大きく下回った状況が変わらず、客の反応も厳しく、財布のひもが堅いままである。		
	テーマパーク（業務担当）	・週末ごとにいろいろイベントを行うので、例年並みの来客数は確保できる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（業務担当）	・平日、休日とも来園者の動きや、情報の問い合わせ状況に変化する兆しはみられない。
		レジャー施設（営業企画担当）	・温泉・ホテル部門の6月度の実績は、利用人数で若干上昇の見込みだが、目標とは大きく乖離し厳しい状態にある。 ・今後も特に目立った要因が見られないため、現在よりも良くなることはない。
		住宅販売会社（営業担当）	・単価が落ちており上昇する兆しがない。
	やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・昨年行われた観光キャンペーンがなく、来客数が例年よりもマイナスに作用し、売上が落ち込む。
		乗用車販売店（所長）	・6月はたまたま新型車が続けざまに出たために、結果としては良くなっているが、新型車効果は1か月しか続かないので、その後は例年並をキープするのが難しくなる。 ・今の状況だと新型車以外は売れない。
		乗用車販売店（従業員）	・6～7月は例年上昇傾向の月だが、今年は客のボーナスに陰りがあるので厳しくなる。
		住関連専門店（広告企画担当）	・客単価の低下が止まらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約が例年に比べて少しづつ減っている。 ・低価格設定が安い方に移行しているため、客単価も低下する。
		一般レストラン（営業担当）	・来客数が落ち込んでおり、良くなる要因がない。
		都市型ホテル（経営者）	・8月、9月とも婚礼の受注状況が例年に比べてマイナスの状況である。
		タクシー運転手	・乗客との会話の中で、これから先の景気に対して見通しが暗いという話題が多い。
		美容室（経営者）	・競合店の出店が多いため、客が分散しキャンペーンを打たないと集客できない状況になりつつある。
		設計事務所（経営者）	・業務に量的な拡大がない。
		住宅販売会社（経理担当）	・新規物件の発売が予定されておらず、既存の物件だけでは契約戸数および売上の増加はない。
	悪くなる		
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・販売価格の値上げにより、若干の回復が見込める。
		化学工業（総務担当）	・経費節減など非常に厳しい経営立て直しなどをしてきた結果として若干持ち直してきている。 ・一部需要が回復しそうであるとの情報もあり、下期にかけて回復する兆しがある。
		鉄鋼業（広報担当）	・中国のセーフガードの動きなどもあり、見極めが必要な状況にはあるものの、引き続き薄板を中心にアジア方面への輸出が堅調に推移する。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・販売価格は戻らないが、販売量は回復傾向にある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・試作開発品の商談が活発で、量産に結びつくような商談が出てきている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・顧客からの発注内示が更に多くなってきている。
		建設業（営業担当）	・相手先の事業計画が徐々ではあるが実施に向けて動き出している。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・例年スルメイカ漁の漁獲高がもっとあるのだが、思ったような水揚げ量を確保できておらず、今年は期待できないという情報も伝わってきている。
		窯業・土石製品製造業（統括）	・IT関連業界は在庫調整のより一層の進展で引続き生産が上向く。 ・鉄鋼業界は市況低迷が続き、受注量の回復はほとんど期待できない。
		鉄鋼業（総務担当）	・エレクトロニクスや自動車関係の受注量が少し上昇していることから、良くなっている状況も見受けられるが、今後の先行き見通しは不安定である。
		金属製品製造業（総務担当）	・現在受注が非常に低迷しており、この状態が改善されることはない。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・部品関係はこのまま好調を維持するが、完成品はまだ厳しい状況が続く。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・国内販売は消費者の買い控え傾向が依然として顕著であり、地域内の販売関係先の話でも、全く明るい兆しがみえてきていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（社員）	・需要や工事の絶対的な量に変化がない。
		不動産業（経営者）	・取引先の状況がかなり改善しているという情報を耳にする。
	やや悪くなる	コピーサービス業（管理担当）	・設備投資を行う予定なので、下降傾向にある受注に歯止めがかかる。
	悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・受注量、発注量が少なくなっている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 （広告営業担当）	・広告出稿がやや上向き傾向にある。
	変わらない	求人情報誌製作会社 （編集者）	・売上が減っても増益を目指している状況で、人材に積極的に投資をしていくことはなく、その傾向は数か月先においても続く。
		民間職業紹介機関（職員）	・ごく一般的な製造スタッフ系の仕事がなかなか増えない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・雇用を牽引する業界が少なく、求職者と求人者とのスキルギャップは依然埋められていない。
		職業安定所（職員）	・今後も製造業や建設業を中心に、事業縮小や一時休業などの情報がいくつかあり、新規退職者数の一層の増加が懸念される。
		職業安定所（職員）	・建設業や製造業では希望退職者を募るリストラが見受けられ、回復の兆しがみえない。
		職業安定所（職員）	・例年ならば減少する求職者数が減少していない。
		職業安定所（職員）	・学卒求人の出足も鈍く、一般求人も回復する兆しがみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新卒者の就職活動が長期化しているため、これから後半戦での採用者数の回復は難しい。
悪くなる	-	-	